

日本野鳥の会埼玉 平成29年度事業報告

1. 普及活動関係

(1) 普及部（部長：長野誠治）関係

普及部が主催した探鳥会は別紙探鳥会実施一覧表の通り。

計画138回、雨天等中止13回、実施125回（＝1ヵ月平均10.4回）、合計参加者数4,874人（＝1回平均39.0人）に及んだ。前年度は実施121回（＝1ヵ月平均10.1回）、合計参加者数4,858人（＝1回平均40.1人）なので、実施回数、合計参加人数ともに増加したが、1回平均参加人数は減少した。一般参加者の割合も前年度の18.1%から17.6%に減少した。

28年鳥見ランキングを募集し、年間観察鳥種数部門で千島康幸会員が1位となり、『しらこぼと』5月号で発表した。

8月27日（日）、リーダー研修会を北本市内で開催した。参加者32名。うち新人リーダー4名。10代（高校生、男子）と20代（大学生、男子）のリーダーが誕生した。

12月23日（土・祝）さいたま市内で年末講演会を開催した。参加者67名。第1部：会員による「映像で振り返るこの1年」、第2部：画家神戸宇孝さんの講演『鳥を描く楽しみ』、第3部：懇親会と続いた。

29年鳥見ランキングの案内を、2月号で発表した。

毎月第1土曜日に普及部会議を開催、普及活動のあり方や行事予定について意見を交換し、普及部便りを全リーダーに配布した。

(2) その他の普及活動のうち、『しらこぼと』で報告されたものは次の通り。

1月28日（土）～29日（日）八王子市内で開催された本部普及室主催「探鳥会リーダーズフォーラム東日本」に、他支部の探鳥会リーダーたちとともに参加した高崎康晃、島崎敦の2名が、レポートを6月号で発表した。

3月18日（土）に開催した見沼自然公園ビギナー探鳥会を、「見沼・さぎ山交流広場の春シーズン企画」として交流広場のホームページに掲載し、見沼たんぼ各所にある掲示板にポスターを掲示した。参加者40名の半数が、それらを見て参加したものと思われ、公園のカモなどを観察した後、さぎ山記念館の集会室で、詳しい解説をしたことを、6月号で報告した。

5月17日（水）さいたま緑の森博物館（入間市）で開催された彩の国シニア自然大学校2017年度野鳥観察講座第1回受講者10名に対し、石光章、小林みどり、近藤龍哉、山部直喜が指導した。

5月20日（土）水元公園（江東区）で開催された新ハイキング主催「鳥を観る・知る」第22回約20名の参加者に対し、小林みどり、藤田敏恵、星進が指導した。

6月10日（土）さいたま市立浦和博物館主催の親子探鳥会が緑区三室地区で開催され、楠見邦博、畠山孝、小菅靖、石塚敬二郎が、親子35名の参加者を指導した。

7月29日（土）春日部市庄和市民センター正風館で開催された同市庄和地区市民大学で、参加者の研究論文「春日部市の野鳥」につき、山部直喜が調査対象・調査方法を指導した。

（株）文一総合出版BIRDER編集部から依頼を受け、埼玉県13ヵ所の探鳥地紹介を当会会員12名が執筆を進めていた『新日本の探鳥地・首都圏編』が、10月6日に発売された。

NHK「ダーウインが来た！ヒバリ」番組担当者からヒバリを撮影できる場所について相談を受け、羽生水郷公園探鳥会担当の相原修一幹事が同公園を案内した。番組は10月8日（日）午後7時30分から30分間放送され、「協力：野鳥の会埼玉」のクレジットタイトルが流れた。

9月30日（土）北本自然観察公園で開催された新ハイキング主催「鳥を観る・知る」第23回で、浅見徹、吉原俊雄、工藤洋三、藤田敏恵、星進が指導した。

10月4日（水）葛西臨海公園で開催された彩の国シニア自然大学校野鳥観察講座2017年度第2回で、小林みどり、石光章、山部直喜が指導した。

10月28日（土）「見沼秋フェス2017in さぎ山」に出展。10名以上の役員リーダーがスタッフとして参加し、本部からも普及室販売出版グループ3名が応援に来た。「鳥の羽根の展示」「親子ミニ探鳥会」「物品販売」を実施した。

11月25日(土)、越生町越辺川で開催された新ハイキングクラブ(東京都)主催「野鳥を観る・知る」第24回を、小林みどり、浅見徹、藤田敏恵、星進が指導した。

12月6日(水)、蓮田市黒浜沼周辺で開催された彩の国シニア自然大学校「野鳥観察講座」今年度第3回で、食事会を兼ねた室内講座も含めて、小林みどり、榎本秀和、近藤龍哉、田中幸男が指導した。

12月15日(金)、上尾市丸山公園で開催された上尾自然学習館学習指導員研修で、野外実習と室内研修を小林みどりが指導した。

30年1月16日(火) 上尾市丸山公園で開催された上尾自然学習館学習指導員研修会で、野外実習と室内研修を小林みどりが指導した。

1月31日(水) 彩の国シニア自然大学校野鳥観察講座第4回(最終回)が北本自然観察公園で開催され、小林みどりが指導した。

読売新聞埼玉県版で土曜日に掲載される4団体交代執筆の『動物日記』。当会は海老原美夫が担当して、3月17日で15年目150回を迎えた。

2. 保護活動関係

埼玉県みどり自然課から鳥獣保護管理員推薦依頼があり、小林みどり、小荷田行男、橋口長和の3名を引き続き推薦した。

『サンデー毎日』7月23日号に東京23区内におけるオオタカの営巣育雛写真が大きく掲載された件につき、当会幹事から指摘を受け、日本野鳥の会東京、本部自然保護室と連絡を取り、9月4日付でサンデー毎日編集部、「育雛中の写真そのものを、貴誌のような影響力の大きい媒体が世間に公開することは、多くのアマチュアカメラマンに悪い影響を与えるおそれがある」等の意見書を送った。

7月24日(月) 県教育会館(さいたま市)で開催された埼玉県カワウ対策協議会に小荷田行男が出席した。みどり自然課、県水産研究所、森林公園などから、カワウの生息状況が報告された。

日本野鳥の会三重から届いた「大規模太陽光発電(メガソーラー)建設の中止を求める署名のご協力依頼について」という文書を、8月号で紹介した。

当会も署名活動に協力し、和白干潟を守る会が3月福岡市議会に提出した請願「博多湾・和白干潟のラムサール条約登録について」が、8月21日(月)福岡市議会第5委員会審査され、「継続審査」になったとの連絡を受けた。

10月25日(水) 国営森林公園管理センター都市緑化植物園研修室で開催された地域懇談会第3回バリアフリー分科会に藤掛保司が出席した。

12月26日に蓮田市で保護されたクロアシアホウドリを、埼玉県鳥獣保護管理員を含む3名の本会会員が茨城県波崎漁港に運び放鳥した。

30年1月18日(木) に開催された芝川第一調節池に関する意見交換会に、提案者等2名、埼玉県土整備事務所芝川改修事業担当者2名、(公財)埼玉県生態系保護協会3名、当会から小林みどりと野口修、計9名が集まり、「水深が深くハクチョウが採餌に苦労しているので、飛来時期だけでも水位を下げしてほしい」との提案に対し、管理側：「オギの穂の飛散に周辺住民から苦情が多く、水位を高くして繁茂を防いでいる」、小林：「ハクチョウだけを増やす必要があるのか疑問だが、そうしたいなら、近くの農耕地を冬水田んぼにするなど根本的な対策が必要」などの意見を交換した。

1月28日(日)に開催されたさいたま市緑区環境講演会実行委員会主催の講演とパネルディスカッション「見沼を食らう Part II～見沼たんぼの農業と市民の力～」を後援し、1月号で広報協力した。当会が15年間後援を続け、団体としての支援活動、見沼たんぼの環境保全に協力した講演会は、これを以て終了した。

2月15日(木) さぎ山記念館で開催された見沼・さぎ山交流ひろば第4回運営会議に小林みどりが出席した。

3月23日(金) 県教育会館(さいたま市)で開催された埼玉県カワウ対策協議会に小荷田行男が出席した。

3. 調査活動関係

(1) 調査部(部長：小林みどり)の活動

研究部の名称を調査部に変更した。

1月7～15日に県内59カ所で行ったカモ科カウント調査結果を、『しらこぼと』6月号で発表した。

4月29日さいたま市内で参加者19名の協力を得てシギ・チドリ類調査を実施し、結果を7月号で発表した。

埼玉県野鳥分布調査2005-2010 報告『しらこぼと』増刊号中の誤りを修正する記事を、7月号で発表した。野鳥データベース作成のために野鳥情報にメッシュを付してほしいと、9月号特集記事で呼びかけた。

同時に野鳥データベースを充実させることを目的とした野鳥リポーターを募集することとして、9月号で呼びかけた。年度末時点でのデータベース登録データ数は170,759件、野鳥リポーターは20名である。

9月18日(月・祝)さいたま市大久保農耕地で参加者23名の協力を得てシギ・チドリ類調査を実施し、結果を11月号で発表した。

9月18日(月・祝)寄居町中間平展望台、24日(日)飯能市天覧山で、合計参加者48名の協力を得てタカの渡り調査を実施し、結果を12月号で発表した。同時に、IT委員会の協力のもとホームページに投稿されたタカの渡り情報のまとめを12月号で発表した。

(2) 野鳥記録委員会(委員長:榎本秀和)の活動

29年2月2日(木)東松山市で撮影されたアオシギを、県内339種目の野鳥として県内野鳥リストに追加することを、『しらこぼと』5月号で発表した。

2月2日(木)と6日(月)の2回越谷市で保護放鳥されたクロアシアホウドリを、県内340種目の野鳥として県内野鳥リストに追加することを、同5月号で発表した。

2月12日(日)に富士見市で撮影されたズアオアトリの可能性が大きいと言われる写真につき、全身の羽毛の状態などが確認できない写真1枚だけなので、自然迷行によるものかいわゆる籠脱け個体なのか考える手がかりを得ることができず、本種を県内野鳥リストに入れるべきかどうかの判断を保留することとして、その旨を8月号で発表した。

2月25日(土)に羽生市で撮影されたシラガホオジロを、県内野鳥リスト341番目の野鳥として追加することを、8月号で発表した。

5月17日(水)にさいたま市で撮影されたマダラチュウヒを、県内野鳥リスト342番目の野鳥として追加することを、9月号で発表した。

6月11日(日)にさいたま市で撮影されたムラサキサギを、県内3例目の記録として10月号で発表した。

10月3日(火)に川越市で撮影されたヨーロッパトウネンを、県内2例目の記録として30年1月号で発表した。

12月26日(火)に蓮田市で保護されたクロアシアホウドリを、県内2例目の記録として4月号で発表した。

4. 広報活動関係

(1) 編集部(部長:山部直喜)の活動

毎月第1土曜日に編集会議を開いて、平成29年5月号から30年4月号まで年12回定期発行の『しらこぼと』を発行した。発行部数は各号1,600部ずつ、合計19,200部。

家族会員を除く支部会員と、野鳥の会全国の支部・連携団体やサンクチュアリ、県の関係部課、自然学習センター、国立国会図書館を含む各図書館、山階鳥類研究所、マスコミ各社などに毎月配布あるいは寄贈した。

各号の特集は次の通り。

平成29年5月号 「じいさんのパソコン苦勞話」(舞田治三)

6月号 「2017年冬 カモ科カウント調査結果」(調査部)

7月号 「創刊400号記念『しらこぼと』特集(+α)目録 2009年5月号~2017年7月号」(編集部)

8月号 「平成29年度(第33回)総会」(総務部)

9月号 「野鳥情報にはメッシュを!!」(調査部 森本國夫)

10月号 「鳥と出会える貴重な場所 秋葉の森 総合公園」(今村富士子)

11月号 「食べて支える<生物多様性>-湘南タゲリ米の里を訪ねて-」(小林みどり)

12月号 「2017年 秋タカ渡り調査結果」(調査部・IT委員会)

平成30年1月号 「大麻生探鳥会 350回を越えて」(榎本秀和)

2月号 「大宮氷川神社 カラスの罅入り」(浅見徹)

3月号 「羽ってすごい! 羽を集める楽しみ」(近藤龍哉)

4月号 「1年に1回だけ30年の記録 さぎ山記念公園周辺探鳥会」(海老原美夫)

毎月第2土曜日を校正作業の日として、数名の会員が『しらこぼと』の定期発行に協力した。

毎月1回年間12回『しらこぼと』袋づめの会を開催し、埼玉会報のみの会員向け袋詰め作業をして、郵便局から発送した。

(2) IT委員会(委員長:佐野和宏)の活動

頻繁に委員会を開催し、探鳥会参加者や新入会者の増加を目指して、公式サイトの実績につとめた。

埼玉県野鳥分布調査2005-2010報告『しらこぼと』増刊号をPDF化して公表した。

5. 総務・事務局関係

今年度当初(29/04/01)の会員数は1,707人、今年度末(30/04/02)の会員数は1,632人。残念ながら75人(4.4%)減少した。(参考:前年度の減少率は2.3%)

年間13回の役員会議(毎月1回と総会の席で)を開催して行事予定、会の基本方針などを話し合い、毎回役員会報告を作成して郵便またはeメールで全役員に送付するとともに、要旨を会報に掲載した。

6月25日(日)さいたま市内で第33回総会を開催した。公益財団本部理事長遠藤孝一「日本野鳥の会の活動について」の記念講演、28年県内鳥見ランキング観察鳥種数の部で1位となった千島康幸への表彰状読み上げのあと議事に入り、28年度決算と事業報告、29年度予算案と事業計画案を承認した。29年度役員として40名を再任、大井智弘を新任として選出した。同日、同所での役員会議で互選の結果、代表:海老原美夫、副代表:小林みどり、山部直喜、監事:楠見邦博・青木正俊を選出した。

10月14日(土)~15日(日)都内で開催された日本野鳥の会東京主催の関東ブロック協議会に青木正俊、石塚敬二郎、小林みどり、森本國夫が出席した。

10月28日(土)都内で開催された財団本部主催、三菱UFJ信託銀行本店営業部協賛の講演会『野鳥からみた昆虫、昆虫からみた野鳥』を、9月号で広報協力した。

11月4日(土)我孫子市内で開催された我孫子市鳥の博物館主催第27回鳥学講座「夢を運べ、北の島から日本の空へー絶滅から復活の道を歩むシジュウカラガン」を、11月号で広報協力した。

11月11日(土)~12日(日)千葉市内で開催された日本野鳥の会連携団体全国総会に、山部直喜が出席した。

6. 事業活動関係

7月、事業部長が大坂幸男から相原修一に交代した。

収益目的ではなく会員利便のためのサービスとして販売事業活動を継続した。

運営準備積立金を維持し、会の財政安定に貢献した。

以上

日本野鳥の会埼玉平成29年度探鳥会計画実施一覧表

年	月	日	曜	探鳥地	メインリーダー	参加者数	会員	一般
29	4	1	土	まつぶし緑の丘公園(写真)	佐野	20	19	1
	4	2	日	石戸宿[定例]	吉原(俊)	59	52	7
	4	3	日	民家園[定例]	伊藤	56	42	14
	4	8	土	狭山湖	石光	雨天中止		
	4	9	日	大麻生[定例]	榎本(秀)	雨天中止		
	4	9	日	宝登山	井上	雨天中止		
	4	9	日	多摩動物公園	入山	18	18	0
	4	16	日	三室地区[定例]	須崎	55	42	13
	4	16	日	内牧公園	石川	43	39	4
	4	21-23	金-日	三宅島	浅見(徹)	23	23	0
	4	22	土	秋ヶ瀬公園(Young)	廣田	64	36	28
	4	26	水	秋ヶ瀬公園(平日)	小林(み)	39	34	5
	4	26	水	秋ヶ瀬公園(ビギナー)	石塚(敬)	24	9	15
	4	29	土祝	小倉山森林公園	青木	67	57	10
	5	3	祝	宇和田公園	佐野	51	47	4
	5	5	祝	谷津干潟	杉本	75	67	8
	5	7	日	さいたま緑の博物館	石光	21	21	0
	5	12	金	中軽井沢(レディース)	吉原(早)	19	18	1
	5	13	土	加須はなさき公園	長嶋	雨天中止		
	5	14	日	大麻生[定例]	千島	56	37	19
	5	20,21	土日	栃木県民の森、奥日光	入山	23	23	0
	5	21	日	三室地区[定例]	青木	65	39	26
	5	27	土	渡良瀬遊水地(Young)	廣田	35	23	12
	5	27,28	土日	戸隠高原	菱沼(一)	20	20	0
	5	28	日	入間川[定例]	長谷部	35	31	4
	6	3	土	高麗川	山口	37	36	1
	6	4	日	民家園周辺[定例]	須崎	41	29	12
	6	4	日	石戸宿[定例]	吉原(俊)	48	42	6
	6	11	日	大麻生[定例]	新井	35	28	7
	6	15	木	羽生水郷公園	相原(修)	40	31	9
	6	18	日	三室地区[定例]	浅見(徹)	61	38	23
	7	2	日	渡良瀬遊水地	佐野	67	63	4
	7	9	日	大麻生[定例]	茂木	23	20	3
	7	15	土	伊佐沼(Young)	廣田	55	34	21
	7	15	土	伊佐沼(ビギナー)	石塚(敬)	30	6	24
	7	16	日	三室地区[定例]	小林(み)	34	28	6
	7	23	日	入間川[定例]	長谷部	29	25	4
	7	29,30	土日	乗鞍～上高地	入山	25	25	0
	8	6	日	石戸宿[定例]	吉原(俊)	48	43	5
	8	12	土	谷津干潟	杉本	43	41	2
	8	13	日	大麻生[定例]	榎本	22	18	4
	8	19	木	ふなばし三番瀬海浜公園	菱沼(一)	38	35	3
	8	20	日	三室地区[定例]	小林(み)	33	30	3
	9	10	日	大麻生[定例]	千島	31	27	4
	9	17	日	三室地区[定例]	浅見(徹)	雨天中止		

	9	17	日	高麗川	鈴木(秀)	雨天中止		
	9	23	木	松伏記念公園	田邊	38	28	10
	9	24	日	入間川[定例]	長谷部	30	28	2
	9	24	日	入間川(ビギナー)	石塚	39	7	32
	10	1	日	石戸宿[定例]	吉原(俊)	51	46	5
	10	1	日	民家園周辺[定例]	伊藤	73	52	21
	10	8	日	大麻生[定例]	新井	52	45	7
	10	14	土	渡良瀬遊水地	佐野	32	30	2
	10	14	土	多摩動物公園(Young)	廣田	26	14	12
	10	15	日	三室地区[定例]	須崎	雨天中止		
	10	21,22	土、日	戸隠高原	菱沼(一)	18	18	0
	10	22	日	さきたま古墳	相原(修)	雨天中止		
	10	29	日	まつぶし緑の丘	橋口	雨天中止		
	11	3	祝	利根大堰	入山	29	29	0
	11	4	土	丸山公園	近藤	34	30	4
	11	5	日	内牧公園	石川	57	52	5
	11	9	木	羽生水郷公園	相原(修)	42	38	4
	11	12	日	大麻生[定例]	榎本(秀)	38	33	5
	11	18	土	見沼自然公園	浅見(徹)	19	18	1
	11	19	日	三室地区[定例]	青木	55	40	15
	11	19	日	三室地区(ビギナー)	石塚	15	4	11
	11	19	日	菅谷館都幾川	千島	45	34	11
	11	23	祝	坂東大橋	新井	雨天中止		
	11	23	祝	柳瀬川	鈴木(秀)	雨天中止		
	11	24	金	彩湖	小林(み)	48	41	7
	11	26	日	入間川[定例]	鈴木(秀)	28	24	4
	11	26	日	黒浜沼	小林(み)	59	52	7
	12	2	土	狭山湖	石光	27	22	5
	12	2	土	渡良瀬遊水地	佐野	46	44	2
	12	3	日	石戸宿[定例]	吉原	51	47	4
	12	3	日	民家園周辺[定例]	須崎	64	43	21
	12	7	木	渡良瀬遊水地	小林(み)	43	38	5
	12	9	土	岩槻文化公園	長野	58	57	1
	12	9	土	岩槻文化公園(ビギナー)	石塚(敬)	15	5	10
	12	10	日	大麻生[定例]	茂木	46	39	7
	12	14	木	加須はなさき公園	長嶋	37	29	8
	12	16	土	武蔵丘陵森林公園	鈴木(秀)	51	46	5
	12	16	土	彩湖(young)	廣田	31	15	16
	12	16	土	大宮氷川神社カラスの罅入	浅見(徹)	21	19	2
	12	18	日	三室地区[定例]	須崎	55	43	12
	12	24	日	宇和田公園	佐野	53	51	2
30	1	4	木	さぎ山記念公園	海老原	61	53	8
	1	6	土	彩湖	小林(み)	22	22	0
	1	6	土	彩湖(ビギナー)	石塚(敬)	10	5	5
	1	6	土	ふなばし三番瀬海浜公園	菱沼(一)	37	37	0
	1	7	日	まつぶし緑の丘公園	橋口	56	49	7
	1	8	月祝	武蔵丘陵森林公園	鈴木(秀)	37	36	1

1	8	月祝	民家園周辺(臨時)	伊藤	37	29	8
1	8	月祝	内牧公園	石川	29	26	3
1	13	土	仙元山公園	新井	34	32	2
1	13	土	渡良瀬遊水地(Young追加)	廣田	35	29	6
1	14	日	大麻生[定例]	千島	30	24	6
1	14	日	渡良瀬遊水地	佐野	41	38	3
1	18	木	久喜菖蒲公園	長嶋	30	27	3
1	21	日	三室地区[定例]	須崎	56	40	16
1	21	日	長瀬	井上	52	50	2
1	23	火	武蔵丘陵森林公園	中村(豊)	雪で休園のため中止		
1	25	木	羽生水郷公園	相原(修)	18	14	4
1	28	日	黒浜沼	長野	45	37	8
1	28	日	入間川[定例]	長谷部	28	23	5
2	1	木	彩湖	小林(み)	24	22	2
2	3	土	智光山公園	石光	22	18	4
2	3	土	菅谷館都幾川	千島	21	19	2
2	4	日	民家園周辺[定例]	須崎	62	55	7
2	4	日	民家園周辺(ビギナー)	石塚(敬)	25	4	21
2	4	日	石戸宿[定例]	吉原(俊)	43	38	5
2	4	日	武蔵丘陵森林公園	鈴木(秀)	33	31	2
2	8	木	加須はなさき公園	長嶋	27	23	4
2	10	土	大宮市民の森	青木	61	50	11
2	11	日	大麻生[定例]	新井	43	38	5
2	11	日	狭山湖	石光	34	27	7
2	17	土	丸山公園	近藤	39	38	1
2	17	土	大宮公園(Young)	廣田	29	11	18
2	18	日	三室地区[定例]	浅見(徹)	46	34	12
2	18	日	柳瀬川	鈴木(秀)	39	30	9
2	24	土	岩槻文化公園	長野	64	58	6
2	25	日	坂東大橋	新井(巖)	26	26	0
2	25	日	小根山森林公園	入山	25	24	1
3	3	土	彩湖	石塚(敬)	33	30	3
3	3	土	さきたま古墳公園	相原(修)	25	25	0
3	4	日	黒浜沼	青木	61	47	14
3	4	日	玉淀河原	茂木	35	32	3
3	6	火	武蔵丘陵森林公園	中村(豊)	44	40	4
3	10	土	見沼自然公園	浅見(徹)	29	26	3
3	11	日	大麻生[定例]	茂木	38	33	5
3	18	日	三室地区[定例]	青木	51	41	10
3	21	水祝	松伏記念公園	山部	雨天中止		
3	21	水祝	日光東照宮裏山	浅見(徹)	6	6	0
3	22	木	羽生水郷公園	相原(修)	26	22	4
3	24	土	秩父ミュージアムパーク	長野	60	51	9
3	25	日	入間川[定例]	長谷部	30	24	6
3	25	日	渡良瀬遊水地	佐野	51	44	7
3	31	土	狭山湖	石光	30	23	7
2017年度合計					4874	4018	856